

仕事が円滑に進むように、お客様と製造現場の架け橋になる。

山本健矢 さん (1994年生まれ)
岡崎城西高校 出身
中部大学 経営情報学部卒業

大和化成工業株式会社
岡崎市保母町字上平地1
<https://www.kojima-tns.co.jp/daiwa-kasei/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→経済学の基礎やマーケティング戦略について学ぶ→自動車部品を製造する企業に就職→販売管理課に配属

――**学生時代**
高校時代は友達と遊ぶことがとにかく楽しかったですね。将来のビジョンは、愛知に住んでいるから漠然と自動車関係の企業に就職するのかなという程度です。知っている企業も少なかったですし、大学に進学してビジョンを固めていこうと思っていました。高校卒業後、中部大学経営情報学部に進学しました。

――**大学時代について教えてください。**
「1年次は、マイクロ・マクロ経済や簿記などの基礎を学びました。トヨタ生産方式についての講義もありましたし、具体的な企業を例に出して各企業のマーケティング戦略の違いなどを学んだことも印象に残っています。高校までは地元の友達だけの世界でしたが、大学では学部の違う人や初対面の人と1から人生生活を通して、コミュニケーション力が身についたと思います」

――**就職活動について教えてください。**
「キャリア支援課では、面接練習や履歴書添削などのサポートをしてもらいました。就職活動の軸にしたのは、地元で働ける企業。大学で開かれた説明会で大和化成工業と出会い、採用試験を受けました。総務の方や社内の雰囲気がよかつたことも志望しきつかけです」

――**仕事について**
「当社は、自動車の電線を束ねるハーネスクランプやカーナビを取りつけるクリップなど、主に自動車用のプラスチック締結部品を製

――**学生時代**
高校時代は友達と遊ぶことがとにかく楽しかったですね。将来のビジョンは、愛知に住んでいるから漠然と自動車関係の企業に就職するのかなという程度です。知っている企業も少なかったですし、大学に進学してビジョンを固めていこうと思っていました。高校卒業後、中部大学経営情報学部に進学しました。

――**大学時代について教えてください。**
「1年次は、マイクロ・マクロ経済や簿記などの基礎を学びました。トヨタ生産方式についての講義もありましたし、具体的な企業を例に出して各企業のマーケティング戦略の違いなどを学んだことも印象に残っています。高校までは地元の友達だけの世界でしたが、大学では学部の違う人や初対面の人と1から人生生活を通して、コミュニケーション力が身についたと思います」

――**就職活動について教えてください。**
「キャリア支援課では、面接練習や履歴書添削などのサポートをしてもらいました。就職活動の軸にしたのは、地元で働ける企業。大学で開かれた説明会で大和化成工業と出会い、採用試験を受けました。総務の方や社内の雰囲気がよかつたことも志望しきつかけです」

――**仕事について**
「当社は、自動車の電線を束ねるハーネスクランプやカーナビを取りつけるクリップなど、主に自動車用のプラスチック締結部品を製

――**やりがい**
「製造現場で使う受発注のシステム開発プロジェクトに携わりました。人がおこなっていた作業が自動化されるので、営業も現場もミスが減ります。完成したときは、働きやすい環境を整えられたことに達成感を感じました。あとは、お客様の要望に応えられたとき。『ありがとうございました』

――**メセージ**
「いろいろな部署の人やお客様と関わる仕事なので、専門知識以外にもコミュニケーション力が必要になります。私は5歳から空手をやっていました。みなさんも、学生時代に部活やサークルなどを通してコミュニケーション力を養っておいてください。その経験が社会でもきっと役立ちますよ」

――**仕事内容を簡単に教えてください。**
「現在は、販売管理課に配属。お客様や仕入れ先の情報などを覚えることから始まりました」

――**仕事内容を簡単に教えてください。**
「現在は、販売管理課に配属。お客様から、必要な製品名、納期、量などの注文情報が届くと、それを受けて納入するところまでを担当しています。難しい要望だと、それを実現できるところまでを担当しています。難しい要望だと、それでも、分割納入で対応したり、



19歳 中部大学に進学し、経済学やマーケティング戦略について学ぶ。
↓
23歳 大学卒業後、大和化成工業に就職。販売管理課に配属される。
↓
29歳 仕事が円滑に進むよう、お客様と製造現場をつなぐ。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



サポートすることで、お客様の笑顔を作る。
フロントラインで働く社員を



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→海外留学を経験→一戸建て住宅を販売する企業に就職→営業を経験→総務人事

安部美樹 さん(1996年生まれ)

時習館高校 出身
名古屋市立大学 人文社会学部卒業

株式会社エサキホーム

一宮市東出町7-1(本社)
<https://www.esakihome.co.jp/>

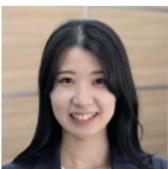
「演劇部に所属し、演劇に打ち込んだ日々が高校生活の思い出です。3年のとき、文化祭でも演劇をやりました。それぞれ向き不向きがあるなかで、楽器、工作、役者など、得意分野をいかしてみんなが活躍できるように工夫しました。みんなでひとつものを作り上げた経験は、自身を成長させてくれたと思います。英語が好きだったこともあり、名古屋市立大学の国際文化学科に進学しました。印象深いのは、4ヶ月ほどイギリスへ留学したこと。初めて長期間、海外で生活をしたのですが、今までの当たり前が通用しないことを肌で感じ、価値観も変わりました。いろんな考え方の人があることを実感し、多様な意見を受け入れられるようになりました」

就職活動について教えてください。

「留学で実家を離れたのをきっかけに、住む場所が人の生活に大きな影響を与えることを実感しました。それが住まいや暮らしに興味をもち、エサキホームを志望したきっかけのひとつです。人生のターニングポイントとなる場面に携わる仕事がしたいという思いも強かったです」

「入社後、営業に配属されました。お客様へ一方的に自社物件の性能を自慢してもお客様には響きません。お客様が何に困っているのか、どのような生活をしたいのか?」を知ることが大切だと学びました。子供と、キャッチボールをしたいお父さ

る採用で関わった社員が楽しそうに働いている姿を見ることがやりがいです。「物件が決まりました!」という報告をもらうときもうれしいです。「これ、やってくれてありがとうございます!」という声を社員からもらうことを実感できます」

ーやりがい

18歳 演劇部に所属し、部活に励んだ高校生活。卒業後、名古屋市立大学へ。

23歳 大学卒業後、エサキホームに入社。営業として勤務。

27歳 総務人事として、新しい社員の採用業務や、フロントラインで働く社員のサポートをおこなう。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>**ー学生時代**

「演劇部に所属し、演劇に打ち込んだ日々が高校生活の思い出です。3年のとき、文化祭でも演劇をやりました。それぞれ向き不向きがあるなかで、楽器、工作、役者など、得意分野をいかしてみんなが活躍できるように工夫しました。みんなでひとつものを作り上げた経験は、自身を成長させてくれたと思います。英語が好きだったこともあり、名古屋市立大学の国際文化学科に進学しました。印象深いのは、4ヶ月ほどイギリスへ留学したこと。初めて長期間、海外で生活をしたのですが、今までの当たり前が通用しないことを肌で感じ、価値観も変わりました。いろんな考え方の人があることを実感し、多様な意見を受け入れられるようになりました」

「現在は、総務人事に配属。2軸あるお客様の趣味や生活スタイルを把握して住宅を提案します」

「現在は、総務人事に配属。2軸あるお客様の趣味や生活スタイルを把握して住宅を提案します」

**ーメッセージ**

「学生時代の私はすごく視野が狭かったと思います。当時は、まわりのコミュニケーションティーだけが自分の世界でした。みなさんには、いろいろなことに興味をもってアンテナを張り、多くの人に会つたりいろんな場所に行つたりしてほしいです。その経験が、仕事に限らず、将来どういう方向に進みたいのかのヒントになります。『どういう働き方をしたいのか、どんな会社で働きたいのか?』を話し、学生の人生にとつてプラスになるような接し方を意識しています。社内業務だと、人事異動の手続きや社内行事の運営など。職場の課題を見つけて解決しみんながイヤキと働ける環境づくりをめざしています」

「学生時代の私はすごく視野が狭かったと思います。当時は、まわりのコミュニケーションティーだけが自分の世界でした。みなさんには、いろいろなことに興味をもってアンテナを張り、多くの人に会つたりいろんな場所に行つたりしてほしいです。その経験が、仕事に限らず、将来どういう方向に進みたいのかのヒントになります。『どういう働き方をしたいのか、どんな会社で働きたいのか?』を話し、学生の人生にとつてプラスになることがあります。まずは、自分がどういった人間なのかを知ることから。得意なこと、楽しい時間などを振り返り、自分がどんな人間なのかを語れるようになつてください」

「学生時代の私はすごく視野が狭かったと思います。当時は、まわりのコミュニケーションティーだけが自分の世界でした。みなさんには、いろいろなことに興味をもってアンテナを張り、多くの人に会つたりいろんな場所に行つたりしてほしいです。その経験が、仕事に限らず、将来どういう方向に進みたいのかのヒントになります。『どういう働き方をしたいのか、どんな会社で働きたいのか?』を話し、学生の人生にとつてプラスになることがあります。まずは、自分がどういった人間なのかを知ることから。得意なこと、楽しい時間などを振り返り、自分がどんな人間なのかを語れるようになつてください」

ライフル線である電気を安定供給し、
みなさんの快適な生活を守る。



なるためには

- 必要資格 / 第二種電気工事士 ※入社後に取得可能
- 主な進路 / 高校卒業→電気設備工事などをおこなう企業に就職→研修を受け、第二種電気工事士資格を取得→技能職として勤務

小木曾健成 さん(2001年生まれ)

愛知産業大学三河高校 出身

株式会社トーエネック

岡崎市上六名3-14-1(岡崎営業所)

<https://www.toenec.co.jp/>

— 学生時代 —

すべての人たちの生活を支えてい
ることに誇りを感じます

— メッセージ —

「高校の思い出は部活動。サッカー部に入り、毎日部活に打ち込みました。部活を通して学んだのは、地道な努力が大事だということです。体力面や技術面で、日々の努力が自身の成長につながっていることを実感できました。高校が電気科だったので、授業では発電機や電動機の仕組みなど電気の基礎を学びました。実習も多く、高校生のときに第二種電気工事士の資格を取得しました」

進路について教えてください。

「高校卒業後は、電気設備工事や電力関連工事などをおこなうトーエネックに就職しました。トーエネックで働いている父が楽しそうに仕事を話をしていたことも、この仕事に興味をもつたきっかけです」

— 仕事について —

「入社後、まずは腕金やリバンドなど材料や道具の名前を覚えるところから。半年くらいかけて、電柱に金物や腕金などの配電線器具をどのように取り付けていくのかを学びました。座学で学んだのは、各家庭にお届けする電気の知識、電柱や電線などの設備について。電柱直下で作業をするときは声をかけあってなど、作業をするうえで一番大切な安全面についても教わりました。最初の研修で、玉掛け技能高所作業車技能などの資格を取得了しました」

「地域のみなさんのもとへ、ライフル線である電気を安定供給し、みなさんの快適な生活を守るために教えなくてください。」



ありがとうございました。

「怪我をしない、怪我をさせないことを意識して作業しています。高い場所での作業がほとんどなので、命綱(フック)を正しく使用し、絶対に墜落しないようにしたり、材料や工具を落とさないように細心の注意を払っています」

— やりがい —

「やりがいを感じるのは、お客様のもとへ電気を届けられたことを実感できたとき。台風や大雨などの災害で停電したときに出動することもあります。責任をもって復旧作業に取り組み、無事に電気が送られたかを確認したときに『ありがとうございます!』という声をいただく『うれしい』ですね。一般家庭でも工場でも、

16歳
▼
19歳
▼
22歳

サッカー部に入り、部活に打ち込む日々。努力の大切さを実感。

トーエネックに就職。研修を通じ、電気工事の基礎を学ぶ。

家庭や工場へ電気を安定的に届けることで、すべての人たちの快適な生活を支える。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



食べる、話す、笑う、

患者様の当たり前的生活を守る。

横山未沙さん(1999年生まれ)
豊川高校出身
慈恵歯科医療ファッショント専門学校 卒業

すまいる歯科
岡崎市北野町一一番訳33-1
<https://www.smile-shika.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 歯科衛生士
- 主な進路 / 高校卒業→歯科衛生士の養成課程のある専門学校に進学→国家試験に合格し、歯科衛生士資格を取得→歯科医院に就職

—学生時代

「この仕事をめざしたのは、矯正専門医に通っていたときの歯科衛生士さんがきっかけです。その歯科衛生士さんのことが好きな気持ちがずっとあって、将来、私も子供から憧れられる仕事がしたいと思うようになりました。少人数制で手厚いサポートに惹かれ、高校卒業後は、慈恵歯科医療ファッショント専門学校に進学。建物が新しく、最新の機械が揃っていてキラキラしている感じがしたのも魅力でした」

専門時代について教えてください。

「1年目は、人体の構造や解剖学、歯の組織、虫歯や歯周病の原因など、基礎的な内容が中心。歯石を除去するキュレットスケーラーなどの道具の使い方も学びました。認定歯科衛生士の先生から、器具の研ぎ方や当て方、ポジショニングなどをみつかり学んだことも印象に残っています。2年目は臨床実習が中心。実際に歯科医院や大学病院などでドクターの歯科診療補助、歯科予防処置などを経験しました。3年になると、国家試験の集中講義が始まります。先生方の手厚いサポートもあります。先生方の手厚いサポートもあり、安心して国家試験に臨むことができました」

—仕事について

「国家資格を取得し、プロとしての自覚をもつようになりました。患者様にはもちろん、医院で一緒に働くスタッフに対しても思いやりの心、感謝の気持ちを常にもつて業務にあたっています」

「なるためには

- 必要資格 / 歯科衛生士
- 主な進路 / 高校卒業→歯科衛生士の養成課程のある専門学校に進学→国家試験に合格し、歯科衛生士資格を取得→歯科医院に就職

—メッセージ

「私たち毎日多くの患者さんを診ていますが、患者さんにとっての

歯科衛生士はただひとり。人と人



「食べる、話す、笑うといった、患者様の当たり前的生活を守る仕事であります。健康増進のために3、4ヶ月ごとに定期検診に来てくださる患者様には、口腔内に変化がないかを確認し、変わっていないこととの素晴らしさを伝えるようにしています。あ

とは、歯周病の治療。歯周病の原因になるブラーク(歯垢)は歯磨きで取れるのですが、奥までキレイに磨けない患者様が多いのも現実。どうすればセルフケアができるようになるかを患者様と一緒に考えていくことがあります。ブラークが石灰化した歯石は、超音波スケーラーなどを使って私たちが除去していくます」

ありがとうございました。

「患者様から、「教えてもらった通りにやつたらよくなつた」もっと早く出会ひたかったなど前向きな言葉をかけてもらえると嬉しいです。時には『あなたに会いたいから定期検診に通っているんだよ』と言つてもらえることも。大好きな患者様、スタッフに囲まれてしているので、毎日楽しいですしやりがいを感じながら診療に取り組んでいます」



歴史年

18歳
↓
21歳
↓
24歳

卓球に熱中した高校時代。国体出場や地区大会で優勝を経験。

歯科衛生士としての基礎知識、技術を身につける。国家試験に合格。

あたたかい患者様とスタッフに囲まれ、日々やりがいを感じながら仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>





商品を販売する以上に、自分の価値を表現する場所。

岩崎雄思 さん(2000年生まれ)
刈谷工業高校 出身

EXPRESS
岡崎市東明大寺町16-5
https://www.instagram.com/express_okazaki/

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→フリースタイルフットボールや映像制作など、様々な経験を積む→セレクトショップに就職

――**学生時代**――

「高校生のときにフリースタイルフットボールを始め、授業後に先輩たちと公園で練習をしたり週末は名古屋の練習会に参加したりしていました。部活だと先輩後輩といつても2歳差くらいだと思いますが、フリースタイルフットボールの世界では5歳上くらいの先輩ばかりで幅広い世代の人たちとふれあうなかで刺激を受けました。怒られることもありましたけど、知らない世界に連れて行ってもらったり立ち振る舞いを教えてもらったりしたことが、自分を成長させるきっかけになつたと思います」

――**仕事について**――

「セレクトショップEXPRESSで販売員として働いています。最初は、ただのお客さん。ここに行けば、音楽やグラフィティカルチャーなど新しい情報を知ることができたり元気をもらえたりする。その居心地のよさに惹かれて通っています。オーナーの東さんに自分の可能性を引き出してもらったように、僕も誰かに元気を与える人になりたいと思い、EXPRESSで働きはじめました。常に利他的であることや、相手に価値を与えることを意識しています。与えた分、自分に返つてくることも実感しています」

現在の仕事内容を教えてください。
自分がいいなって思うアーティストに依頼してオリジナルの服を作ったり、接客して商品を販売することが主な仕事です。でも、それ以

なるためには

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→フリースタイルフットボールや映像制作など、様々な経験を積む→セレクトショップに就職



――**やりがい**――

「お客様との距離が近いので、コミュニケーションをとつて仲よくなり、お店に来てくれる回数が増えるとうれしいです。自分を求めてきてくれる人たちの存在がやりがいです。この仕事を始めて、自分が何者かが少しずつわかつてきました」

――**メッセージ**――

「学生時代は、チャンスがあればいろいろなところに足を運んでいました。僕は高校生のときから、フリースタイルフットボールの縁で東京や大阪、神戸などいろんな土地へ行く機会がありました。自分とは違う感性の人と出会うと、世界観、価値観が変わってきます。みなさんも、人との出会いを通して視野を広げてほしいです。特に若い方は都会へ行ったほうがいいと思います。田舎は年を重ねてからでもいいから笑)。そっちのほうが、自分の可能性をきっと引き出せますよ!」

16歳 フリースタイルフットボールを始め、刺激的な毎日を送る。

21歳 客として通っていたEXPRESSで働きはじめる。

23歳 オリジナルアイテム制作、商品販売だけでなく、映像制作にも取り組む。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



世界の物流を支える。

200mクラスの巨大な船を製造し、

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→機械工学について学ぶ→造船事業を展開する企業に就職→船殻工作部に配属→課長に就任



安藤智拡さん(1984年生まれ)

国府高校出身
名城大学 理工学部卒業

株式会社新来島豊橋造船

豊橋市明海町22
<https://www.toyozo.jp/>

ー学生時代

「高校時代は、サッカー部に入つていました。身についたのは、上下関係はもちろん、勝利という同じ目標に向かって集団で取り組む姿勢。ジョンソンが中盤(MF)だったので、周囲の動き、流れがよく見えるようになりました」と思います。仕事でも現場の流れが日々変わっていくので、その変化に気づいて対応する力が身につきました。もともと数学や物理科目が好きだったので、名城大学理工学部に進学。専攻していたのは機械工学です。力学や機械の基礎、動力の伝わり方などを学びました。エンジンを動かす実験、シミュレータ・プログラムを組んで動かす実験も印象に残っています」

「地元企業であることが第一。あと興味をもったモノづくりに携わりたいという思いもありました。卒業後は、新来島豊橋造船に就職。当社が製造している船は、自動車や穀物を運搬する船で、自動車だと700台は積める大きさです。製造するモノの大きさにも惹かれました」

ー仕事について

「入社後、船殻工作部に配属されました。鉄板を切断したり曲げたりして加工する仕事。切断した部材を組んで溶接をする仕事。その2つがメインの部署です。入社当初は何ひとつわからぬ状態。上司や先輩、作業者から教わることが多く、毎日コミュニケーションをとりながら知識と経験につなげていきました」

ーやりがい

「課長という責任のある立場を与えて、業務が円滑に進むようにうつなり、目標が達成できたりするところがいいですね。作業者がいきいきと働いている様子を見たときや、『作業がやりやすくなつた』という声を聞いたときにもやりがいを感じます」



18歳

23歳

37歳

サッカー部に所属し、チームで同じ目標に向かって取り組む姿勢を学ぶ。

大学卒業後、新来島豊橋造船に就職。船殻工作部に配属。

課長に就任。日々の仕事を通じ、いきいきと安全に働く職場環境を作る。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



ーメッセージ

「大にしてほしいのは感謝の意識です。現在、不自由なく生活できているのは、親やまわりにいる人の支えがあるから、そのなかで成長しているんです。それから、社会に出てからも人生は勉強の毎日。学生時代に、考える力やコミュニケーション力を培つておいてほしいです。自分から行動しないと何も始まりません。積極的にいろいろな経験をして、自分の考えだけでなく幅広い視野を広げてください。その経験は、社会に出たときにきっと役立ちますよ」

ありがとうございました。

自動車整備士は、職人に近い仕事を。

なるためには

- 必要資格 / 自動車整備士
- 主な進路 / 高校卒業→自動車整備士課程のある短大に進学→2級自動車整備士資格取得→自動車販売店に就職

「野球部に入っていたこともあり、部活中心の高校生活でした。野球はひとりでやる競技ではありません。それは、自動車整備士も一緒。また、中学生のときから興味のあつた自動車整備士をめざし、愛知工科大学自動車短期大学に進学しました」

「まずは工具の使い方など自動車整備の基礎から学びます。オイル交換やタイヤの脱着、空気圧の補充など現場でおこなう頻度の高い整備の実習もあったので今も役に立っています。どのような構造でエンジンが動くのかを工学的に学ぶ授業もありました。大学には乗用車以外にも大型トラックなど様々な実習用の自動車が用意されていました。いろんな自動車に触れることができ、大きさや重たさなどを肌で感じながら学ぶことができて楽しかったです。国家試験に合格して2級自動車整備士を取得し、ATグループ（愛知トヨタ）に就職しました」

「1年目は豊川車検センターに配属され、ひたすら車検をおこないまして。ちょっとしたミスひとつで、お客様や国からの信頼を失ってしまします。閉め忘れ、交換し忘れがないよう、チェックを徹底するように意識していました。仕事に対する責任感も芽生えました」と思っています」

「**1年** **仕事について**
（愛知トヨタ）に就職しました」

「**やりがい**
お客様から『提案通りに変えたら、すごくよくなかった！』という言葉をいたぐと嬉しいですね。私の店

舗には、『警告灯がついたから来た』音なのか、部品がガタついている音のかを調べるところから、異音ひとつとっても、油脂が乾いて出ている

のかを調べるところから、異音ひとつでも、油脂が乾いて出ている音なのか、部品がガタついている音なのか、様々なケースを想定して作業を進めます。誰のために作業をしているのかを常に考え、日々の仕事を取り組んでいます」

「**仕事内容を簡単に教えてください。**
お客様が安心安全に自動車を運転できるよう点検や整備をおこなうこと私が仕事。自動車整備士は、職人に近い仕事だと感じています。人それぞれの感覚、経験がそのまま



18歳
↓
21歳
↓
24歳

野球演けの毎日。チームで何かに取り組む姿勢を身につける。
自動車整備の専門的な知識と技術を学ぶ。2級自動車整備士の資格を取得し、ATグループ（愛知トヨタ）に就職。
誰のために作業をしているのかを常に考え、日々の仕事を取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



— 学生時代 —

— メッセージ —

「自動車整備士の養成課程がある学校に進学し、専門的な知識や技術を学ぶのが一般的ですね。自動車整備士の国家資格があれば、どこでも活躍できる仕事なのでおすすめです。この地域で生活をしていたら、ほんどの人が自動車を利用することになると思います。友達や親から相談をされたりと、仕事以外のプライベートでも身につけた知識や技術が役立つ場面が多いですよ。学生時代は、いろんなことに挑戦し、自分の向き不向きを知ることから始めみてください」

辻岬一郎 さん（1999年生まれ）

渥美農業高校 出身
愛知工科大学自動車短期大学 卒業

ATグループ（愛知トヨタ）

田原市豊島町七曲5-1（田原店）
<https://www.at-group.jp/>

— 学生時代 —

— メッセージ —

「野球部に入っていたこともあり、部活中心の高校生活でした。野球はひとりでやる競技ではありません。それは、自動車整備士も一緒。また、中学生のときから興味のあつた自動車整備士をめざし、愛知工科大学自動車短期大学に進学しました」

「まずは工具の使い方など自動車整備の基礎から学びます。オイル交換やタイヤの脱着、空気圧の補充など現場でおこなう頻度の高い整備の実習もあったので今も役に立っています。どのような構造でエンジンが動くのかを工学的に学ぶ授業もありました。大学には乗用車以外にも大型トラックなど様々な実習用の自動車が用意されていました。いろいろな自動車に触れることができ、大きさや重たさなどを肌で感じながら学ぶことができて楽しかったです。国家試験に合格して2級自動車整備士を取得し、ATグループ（愛知トヨタ）に就職しました」



「**ありがとうございました。**

**安全に目的地まで届ける。
お客さまの大切な時間と命を運ぶ仕事です。**



酒井久司さん(1987年生まれ)

岡崎城西高校出身
東海学園大学 経営学部卒業**名古屋鉄道株式会社**名古屋市中村区名駅1-2-4
<https://top.meitetsu.co.jp/>

- 必要資格 / 動力車操縦者運転免許
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、地域活性について学ぶ→鉄道会社に就職→車掌を2年以上経験→国家試験に合格し、動力車操縦者運転免許を取得→鉄道運転士

なるためには

教習期間で学んだことは?
「3ヶ月は、運転理論や運転規則、電

車の仕組みなど座学が中心。事故や災害時などの対応についても学びました。残りの4ヶ月は現場教習で

「最初の3ヶ月は、駅業務を経験。運賃の勉強、窓口で旅行商品の販売、乗換案内などをおこない、鉄道現場に慣れていました。次に、4年間、車掌を経験しました。その後、約7ヶ月の教習期間を経て動力車操縦者運転免許の国家試験に合格し、

「鉄道運転士として電車を運転できるようになりました」

「最初の3ヶ月は、駅業務を経験。運賃の勉強、窓口で旅行商品の販売、乗換案内などをおこない、鉄道現

場に慣れていました。次に、4年間、車掌を経験しました。その後、約7ヶ月の教習期間を経て動力車操

「最初の3ヶ月は、駅業務を経験。運賃の勉強、窓口で旅行商品の販売、乗換案内などをおこない、鉄道現

場に慣れていました。次に、4年間、車掌を経験しました。その後、約7ヶ月の教習期間を経て動力車操

「最初の3ヶ月は、駅業務を経験。運賃の勉強、窓口で旅行商品の販売、乗換案内などをおこない、鉄道現

ー 学生時代

「高校と大学は、ラグビー漬けの毎日でした。チームスポーツなので、ひとつの目標に向かってみんなで切磋琢磨すること、協調性の大切さなどを学びました。高校卒業後は、東海学園大学に進学しました」

大学時代について教えてください。

「大学では、幅広くいろいろな人と関わる機会があり、コミュニケーション力や社会性を養うことがでてきたと思います。講義では、ミクロ・マクロ経済を中心に勉強しました。特に印象に残っているのは、地域活性に対する企業のあり方を学んだこと。地域を発展させるには、地域企業が密に連携をとることが不可欠です。私も地域発展に貢献できる仕事がしたいと思うようになりました。興味をもつたのが鉄道会社。大学卒業後は名古屋鉄道に就職しました」

ー 仕事について

「最初の3ヶ月は、駅業務を経験。運賃の勉強、窓口で旅行商品の販売、乗換案内などをおこない、鉄道現

場に慣れていました。次に、4年間、車掌を経験しました。その後、約7ヶ月の教習期間を経て動力車操

縦者運転免許の国家試験に合格し、鉄道運転士として電車を運転できるようになりました」

**ー メッセージ**

「鉄道会社に入社し、駅員や車掌を経験すると、動力車操縦者運転免許の国家試験を受験することができます。国家試験に合格後、教習期間を経てひとりで乗務できるようになります。学生時代は、夢中になれるものを探してほしいです。それがいると、人生を充実させることができます。私はラグビーや釣りなどによって、微妙にブレーキ操作が違ってくるので、経験を積みながらその感覚を覚えていきました」

仕事内容を簡単に教えてください。

「鉄道運転士は私のなかでは職人。その道のプロでいたいと、いつも思っています。私たちは、お客様の大切な時間と命を運んでいます。安心安全に目的地までお届さまを届けることが仕事。常に集中を切れることなく、線区の状況に応じて広い視野をもち乗務しています。心がけているのは、万全な体調で仕事に入ること。そのためにも、休みの日はしっかりと休むようにしています。睡眠をしっかりとり、いいコンディションで仕事に臨むようにしています」

「ありがとうございます」といいました。



18歳 ラグビーに熱中した学生時代。協調性や社会性を養う。

22歳 地域活性に対する企業のあり方などを学ぶ。卒業後、名古屋鉄道に就職。

36歳 鉄道運転士として勤務。今後は、新人運転士を育成する立場に。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

**農家さんを支えるシステムを作ることで、
水環境インフラに貢献する。**



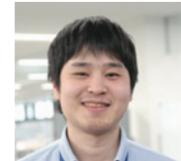
岩村勇希 さん(1996年生まれ)

岡崎工科高校 (当時:岡崎工業高校)出身

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→ガス関連機器、水道関連機器の製造、サービス提供をおこなう企業に就職→工程技術を経て、計装エンジニア

林水産省、国土交通省、地方自治体



18歳

19歳

27歳

直近
年齢

部活と資格取得の両立に励んだ高校時代。ジュニアマイスター・シルバーを受賞。

愛知時計電機に就職。岡崎工場に配属され、工程技術を経験する。就職後も資格挑戦を続け電験三種に合格。

本社に異動し、計装エンジニアとして公共分野の事業に携わる。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



※1 計装:計測センサーや制御装置を設置して、生産システムやインフラシステムの監視・制御を行うこと。

※2 土地改良区:農業設備や水路などの農業インフラの維持管理を行う、農業生産の基盤を支えるために組織された団体。

ー学生時代

ーメッセージ



「中学高校と2道部に所属し、優秀な成績を収められるよう部活に没頭していました。高校は電気科だったので、ですが、電気関係に限らず様々な資格の取得にチャレンジしました。取得したのは、第一種電気工事士認定電気工事従事者、危険物取扱者乙種1類～6類、消防設備士乙種7類など。取得資格や身についた知識・技術などを評価するジュニアマイスター顕彰制度ではシルバーを受賞。部活と資格取得の両立に励んだ高校生活でした。モノづくりが好きだったことや電気に興味があつたこともあり、ガスマーターや水道メーターなど流体計測技術をいかした製品・サービスを提供する愛知時計電機に就職しました」

ー仕事について

「入社後は岡崎工場に配属。生産設備の点検やメンテナンスの実施項目・作業内容の策定・制御プログラムの改修、生産工程の作業手順見直しなど、製造工程全般に携わりました。定期的に各製造現場を巡回し、危険作業や作業者の困りごとはないかと広い視野で問題点を探しました。見つけた問題点は、発生原因や状況の確認後、作業見直しや設備改善などの対策を実施しています」

現在の仕事内容を教えてください。

「現在は本社で計装(※1)エンジニアとして公共分野の事業に携わっています。私の部署のお客様は、農林水産省、国土交通省、地方自治体などです。自分がいと誇りを感じます」

「私の仕事は、農業用水を農家さんの元へ確実に供給するためのシステムの設計と構築を行なうことです。施設管理者の負担軽減だけではなく、農作物を栽培するうえで生命線となる供給インフラを支える重要な部分で貢献できていることに大

きなやりがいと誇りを感じます」

「工事を受注するには、電気または電気通信の施工管理技士の資格が必要になります。施工管理技士の受験には実務経験が必要なので、学生で興味のある方は2級施工管理技士補の挑戦をおススメします。それ以外に必須資格はありませんが、電気関係・情報通信関係の知識があると仕事を役に立ちます。高校時代は、企業見学やインターネット・シップは積極的に参加してみてください。現場で働く人の姿を見て体感することは、いい刺激になりますし、就職活動の参考になると思いますよ」

「工事を受注するには、電気または電気通信の施工管理技士の資格が必要になります。施工管理技士の受験には実務経験が必要なので、学生で興味のある方は2級施工管理技士補の挑戦をおススメします。それ以外に必須資格はありませんが、電気関係・情報通信関係の知識があると仕事を役に立ちます。高校時代は、企業見学やインターネット・シップは積極的に参加してみてください。現場で働く人の姿を見て体感することは、いい刺激になりますし、就職活動の参考になると思いますよ」

お客様との会話を大切にして、
心のよりどころとなる場所をつくりたい。



なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→ハウスメーカー・建材屋の仕事を経験→コーヒー専門店で修業→独立し、カレー店をオープン

後藤充暁さん (1983年生まれ)

蒲郡東高校 出身

コジゴロ

豊川市八幡町上宿 28-17

https://www.instagram.com/cojigoro_spicecurry/

「高校生のときに弟とバンドを始め、大学時代は大学にギターを持ついくほど音楽が大好きでした。音楽は自己表現のツールのひとつでしたね。好きなモノをただただ追い求め、それを誰かと分かちあうことが楽しかったです。大学時代にファーストフード店でアルバイトをしたことで仲間と一緒に働くチムワーカーを学ぶことができました」

「大学卒業後は、ハウスメーカーや建材屋で働いたりしたものの、自分は本当に何がやりたいのかがわからなくなってしまいました…。そんなときに自分と向き合って考えてみたら、仕事をするうえで『人から直接感謝されること』がやりがいだと気づいたのです。その後、手に職をつけたくて飲食の道へ。喫茶店のマスターの姿が思いうかんで、地元のコーヒー専門店『スペシャルティコーヒー薈』で働きはじめました。新しいことを覚えていく楽しさを感じて、どんどん仕事にのめり込んでいきました」

自身のお店をオープンした経緯を教えてください。

「オーナーからのリクエストで、趣味で作っていたスパイスカレーをお店やイベント出店で提供していました。カレーとコーヒーの2軸で展開するなかで、次第に独立したい気持ちが芽生え、2019年にコーヒーとコーヒーのお店『コジゴロ』を豊川にオープンしました」

――**仕事について**
「大学卒業後は、ハウスメーカーや建材屋で働いたりしたものの、自分は本当に何がやりたいのかがわからなくなってしまった…。そんなときに自分と向き合って考えてみたら、仕事をするうえで『人から直接感謝されること』がやりがいだと気づいたのです。その後、手に職をつけたくて飲食の道へ。喫茶店のマスターの姿が思いうかんで、地元のコーヒー専門店『スペシャルティコーヒー薈』で働きはじめました。新しいことを覚えていく楽しさを感じて、どんどん仕事にのめり込んでいきました」

――**やりがい**

「お客様が食べたいものを提供して、『ありがとうございます』の言葉とお金をいただくという、ごく普通のやりとりがやりがいです。でも楽しいことはではなく、何度も壁にぶつかります。その壁をスタッフと乗り越えることができたときの喜びは大きいです。自分が好きなモノで溢れている場所で働くことができていると

現れる仕事内容を教えてください。」「主な仕事はカレーとコーヒーの提供です。カレーは辛さが異なるものを作り、変わり種を1種類用意しています。大事にしているのは、『この味が食べたい!』と思える定番の味を変えないことです。『会話が樂しめる空間をコンセプトにカウンターチェア席を設けたので、お客様を楽しませる接客を第一に心がけています。おいしいカレーとコーヒーを提供するだけでなく、迷ったときに帰つてこれる、心のよりどころとなる場所づくりがしたいと思っていました。会員時代、そういう場所に自分が救われたので、恩返しとして『コジゴロ』もそんな場所にできた

――**メッセージ**

「学生時代にやっていたことが大人になってからカタチになることもあります。自分も学生時代に遊んできたことがお店というカタチになっている感じです。無駄なことなんていないです。好きなことをいっぺいやつてみてください。とにかくやり続けることが大事ですよ」



ー学生時代

ー

「高校生のときに弟とバンドを始め、大学時代は大学にギターを持ついくほど音楽が大好きでした。音楽は自己表現のツールのひとつでしたね。好きなモノをただただ追

い求め、それを誰かと分かちあう

ことが楽しかったです。大学時代にファーストフード店でアルバイトをしたことで仲間と一緒に働くチムワーカーを学ぶことができました」

――**メソセージ**

「学生時代にやっていたことが大人になってからカタチになることもあります。自分も学生時代に遊んできたことがお店というカタチになっている感じです。無駄なことなんていないです。好きなことをいっぺいやつてみてください。とにかくやり続けることが大事ですよ」

いうこともモチベーションになります。たとえば、お店のBGMや置いてある本に興味をもってく

れて、『この曲なんですか』『この本なんですか』と聞かれたり、共感が生まれたりするところが嬉しいですね」

18歳 弟と一緒にバンドを始める。音楽が自己表現ツールのひとつになる。

29歳 地元のコーヒー専門店で修業。オーナーからのリクエストで、スパイスカレーを提供するようになる。

36歳 独立して、豊川にカレーとコーヒーのお店『コジゴロ』をオープン。



高澤年

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



医薬品の接客を通して、健康面でお客様のサポートをしていくお仕事です。



なるためには

- 必要資格 / 登録販売者
- 主な進路 / 高校卒業→大学を卒業→ドラッグストアに就職→実務経験を積みながら登録販売者試験に合格→登録販売者として、医薬品の販売、店舗運営を担う

深見祐太さん(1995年生まれ)

西尾東高校出身
愛知学院大学 経営学部卒業

株式会社スギヤマ薬品

名古屋市千種区内山2-13-9
<https://sugiyama-club.jp/>

――学生時代

「小中学校はまじめに勉強していましたが、その反動からか、高校はゲームやインターネットにのめり込んだ時期もあります。当時は明確な目標がなかったので、大学に進学して将来のビジョンを固めていこうと思っていました。高校卒業後は、愛知学院大学経営学部に進学しました」

――学生時代について教えてください。

「特定の企業をモデルにして経営戦略を学んだり、興味深い学びが多かったです。なかでも、地域を特定して集中的にチエーン店を出店するドミナント戦略について学んだことは、今の仕事につながる部分もあります。地域性、お客様のニーズを考えることの重要性を学びました。あとは、職場の人間関係についてや、社員の成果があがる環境づくり、指導者としての声かけに関することなども学びました」

――仕事について

「大学時代にスーパー・マーケットでアルバイトをしていたのですが、そこで接客の楽しさを感じ、自分の性格に合っていると思うようになりました。スギヤマ薬品に入社したのは、大学で開催された企業展で話を聞いたことがきっかけです。『登録販売者』という資格を知り、医薬品の接客を通して、健康面でお客様のサポートができると思ったからです。大学で学んだことや、アルバイトの経験もいかせるとと思い、この仕事を選びました」

――仕事内容を簡単に教えてください。

「登録販売者は、一般用医薬品の大多数を占める第二類・第三類医薬品の販売ができる資格です。お客様の相談内容に合わせて、症状やお悩みに合わせた薬や養生法などの提案をしています。また、売上管理やスタッフの管理・教育などもおこなっています」

――やりがい

「当店は常連のお客様が多く、おすすめした商品を使用した感想を直接聞く機会がたくさんあります。『すごく効果があったよ』『ありがとうね』といった言葉をいたただくことが多い、『お客様に喜んでいただけてよかつた』という気持ちになります。あとは、職場内の環境づくりに取り組んでいるので、スタッフが楽しそうに働いている様子を見る

こともやりがいのひとつです」

――メッセージ

「高校生のときに、5年後10年後の自分のイメージをもつことはなかなか難しいと思います。ですので、まずは今いる場所で、今できることを精一杯やることが大事だと思います。目の前のことに一生懸念取り組んだり、興味のあること挑戦してみたり。私の場合は、大学時代のアルバイトが将来を考えるきっかけのひとつになりました。みなさんも、様々な体験をするなかで、将来を考えるヒントが得られると思います」

――お忙しいところ、ありがとうございます



19歳

愛知学院大学に進学。実在する企業をモデルにして経営戦略を学ぶ。

23歳

スギヤマ薬品に就職。入社1年目に登録販売者の資格を取得。

27歳

スタッフみんなと同じ目標に向かって進める体制を作る。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

